

従来のLEDのような重々しさがなく、 空間を遮断することのない透過型LED採用。



▲ センタープラザに設置された透過型LEDビジョン (横7m×縦3m輝度:最大6,000cd/㎡)。

4層吹き抜けの大空間に 空間を遮断しない 大型ビジョン設置

沖縄県浦添市の西海岸開発で中核となる大型商業施設「サンエー浦添西海岸パルコシティ(以下、PARCO CITY)」が2019年6月27日にグランドオープン。県内初進出となる94店舗を含む250店舗が出店した。この大型商業施設のWeb・店頭のデジタルコミュニケーションサービスを一括提供するのが(株)パルコデジタルマーケティングである。

同社は、施設内コミュニケーショングループウェアとWebサイト更新機能を一体化したクラウドサービス「PICTONA(ピクトナ)」と、県内最大級の透過型LEDビジョンを含むデジタルサイネージ(計30ヶ所)を提供。中でも「PARCO CITY」の象徴的オブジェとなったのが、2階から5階まで4層吹き抜けのセンタープラザに設置された、横7m×縦3mの透過型 LEDビジョンだ。センタープラザは、この大型商業施設の

中心部に位置し、そのぜいたくな空間を 様々に演出するビジョンとして存在感を 示している。

同LEDビジョンは、エスカレーターの上りと下りが交差しながらクロスに光るライトの建築デザインをバックに、空間のブラインドカーテンのごとく設置されているのが特徴。透過型であるため、従来のLEDビジョンのような重々しさはなく、エスカレーターからの視界や光を遮断することもない。また、透過型ながら3.9mmピッチのLEDは、高精細な映像表現を可能としている。

映像演出をあらゆる場面で 簡単に切り替えて使用できる

「PARCO CITY」の名称は「浦添市の新たな"まち"(CITY)として発展が期待される西海岸地区と、パルコが持つ高い感性の融合」を表現して名付けられており、今回の透過型LEDビジョンもその高い感性を表現するものの1つとして捉えられたのではないだろうか。

なお、センタープラザは、様々なイベントに活用されるスペースであることから、映像演出をあらゆる場面で、誰でも簡単に切り替えて使用できるよう設計されているという。パルコデジタルマーケティングは、このビッグビジョンについて、以下のように話す。

『当該拠点への大型ビジョンの導入を計画するなかで、(株)ファン・ファクトリー様からかねてより紹介いただいておりましたNEXNOVO社の透過型のLEDビジョン〔ニッシントーア・岩尾(株)〕が、今回の空間やハード設計とのマッチング、先進的なイメージ創出の可能性を感じ、当時(約2年前)、日本ではまだ導入事例が少なかった透過型LEDビジョンでの

導入設計をファン・ファクトリー様へお 願いしました。

また、センタープラザは催事やイベント利用が多いため、iPadを活用したタッチパネルでの簡単な操作で通常コンテンツからのスイッチングが可能なオペレーションシステムを設計。デジタルサイネージシステム、PC、TVなどへの切り替えはもちろん、多チャンネルの切り替えも可能なため、イベント用の機材への切り替えも容易です。音量の調整などもタッチパネル操作で直感的にできるようにしています。

ハード設計では、ケーブル類を表に見せないように、フレーム内に収納しています。当初の希望としてあった、沖縄らしい開放的な空間を極力機械的な重厚感で潰さないよう、スピーカーや、床面から左右でフレームを支える筐体など、全てのカラーを白に統一し、エスカレーター側から見えるLEDパネルの裏側もブラインドが降りているように見せています」。

パルコデジタルマーケティングでは、この透過型LEDビジョン以外に、館内のエスカレーターやエレベーターホールなど、来館者の動線の重要拠点である29カ所のポスターボード、フロアサインをデジタルサイネージ化。LEDビジョンを含めた全てのサイネージをひとつのシステムでコントロールし、バラエティ豊かなPARCO CITYの情報を時間・場所毎に最適化して配信している。

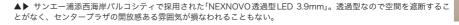
■ 総合プロデュース(株)パルコデジタルマーケティング

■ LED企画・設置設計・システム設計 (株)ファン・ファクトリー

■ NEXNOVO輸入元 ニッシントーア・岩尾(株)









Signs&Displays 2019.8